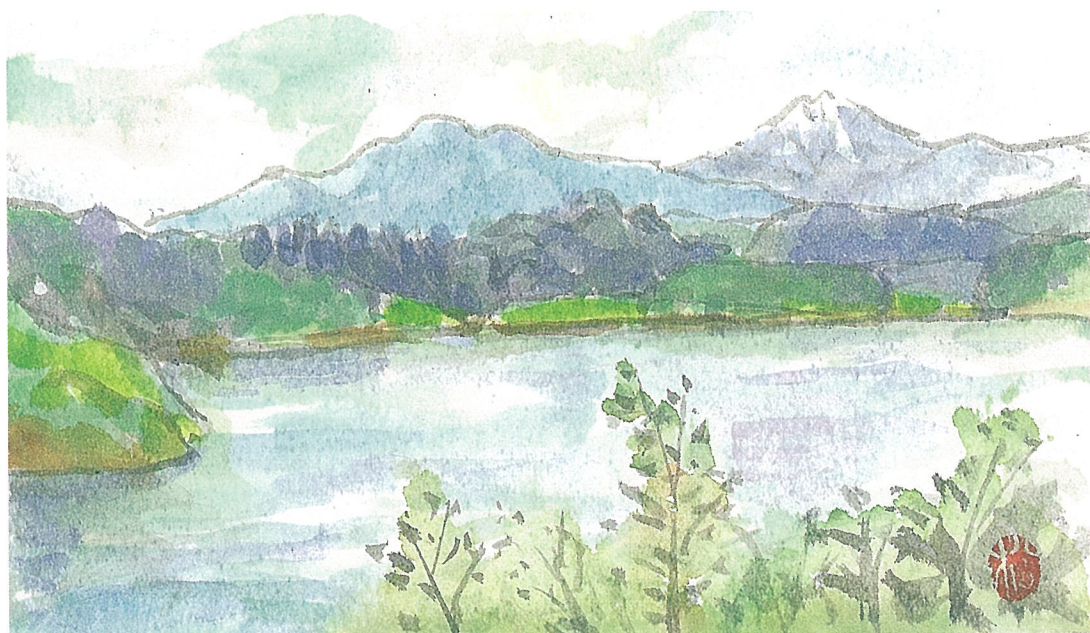


池の谷溜池（通称 中田の堤）（中田）

大山山麓に広がる小鴨谷と北谷に挟まれた台地（通称天神野台地）がある。総面積約3,000haともいわれ、その大部分が原野で用水路がなかったため、明治時代の終りごろまで耕地化は進んでいなかった。



泰久寺（関金）の山根愛吉など先人の努力により、天神野耕地整理組合（後の天神野土地改良区）が設立され、事業が進むかに思えたが、次々に組合長が変わり、困難を極めた。その後、益田伝吉が組合長として迎えられ、陣頭指揮により開墾、用水改良が進められ、大山池など[※]8ヶ所のため池がつくられた。「池の谷溜池」もそのひとつで、大正11年（1922）に完成し、下流域の灌漑設備が出来、入植促進、ほ場整備に役立った。

池の谷溜池

所在地	竣工年	施行主体	受益面積	形式	堤長	堤高	全貯水量
鴨河内字池の谷	大正11年	鳥取県	60.7ha	[※] アースダム	73m	17m	616,000m ³

（注）

8ヶ所のため池：狼谷（大山池）、長尾谷、池の谷、中尾尻、釜ヶ谷、藤井谷、仙隠、横谷。

アースダム：ダム的一种。主として土で築造されたもの